

緑の風 NEWS

JR東労組



J R 東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年8月9日 No.14

職場からの挑戦で、安全で安心して働ける 職場をつくり出す8・8集会



本部は、8月8日に埼玉会館(浦和)にて集会を開催し、238名の仲間が結集しました。

本集会は、「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」の施策が提案される中、事故・事象や、一部管理者・指導員による危険な事象の隠蔽ともとれる行為、不当労働行為が相次いでおり、それを労務管理強化で乗り切ろうとする経営姿勢に抗し、安全第一・現場第一でたたかっていくために開催しました。

中央本部から「新たな組織と働き方」の解明交渉の要点を提起後、各機関から①JR福知山線脱線事故の現地踏査と職場での実践、②新幹線列車分離の原因究明委員会報告、③大宮地本での不当労働行為に対するたたかいの報告がなされました。その後の討論では16名から発言を受け、運行優先の不安全事象や、会社施策が現場に合わない実態、ハラスメントの消し・隠蔽、一部管理者による組合敵視、人事・勤労ユニット集約による不利益変更など多岐に渡る課題について議論を深めました。

そして、JR東労組として「安全」を第一に掲げ、安心して働ける健全な職場をつくるために、職場から組合員と共にたたかうことを確認し成功裡に終了しました。

**定期昇給を軸とした新たな格差と分断、不利益変更反対！
安全・健康・生活を守るため、全組合員でたたかおう！**